STEP 2 「私の故郷」

大学新聞に、あなたの故郷を紹介する記事を書いてください。

ヒント

タイトル

カット

15 説明文「日本の慣用句」／「私の国の慣用句」

日本語には、いろいろなことわざや慣用句（イディオム）がありますが、目や耳や頭などの体の一部分を使った表現がたくさんあります。

「頭が古い」という表現は、「考え方が古い」という意味です。「頭が痛い」という表現は、本当に頭が痛い時にも使いますが、困った問題がある時にも使います。例えば、「子どもがあまり勉強しないので、頭が痛い」などと使います。

「耳が痛い」という表現は、誰かが指摘した一般的な問題点が、自分にもあると思った時に使う表現です。例えば、「きのう、テレビで、最近の若い人は漢字をあまり知らないと言っていたが、私も耳が痛かった」などと使います。

「鼻が高い」という表現は、何かを自慢する時に使う表現です。例えば、「私は、甥がオリンピック選手になって、鼻が高い」などと使います。

「口が重い」という表現は、「あまり話さない」という意味です。例えば、「総理大臣は、経済問題についてはよく話したが、外交問題については口が重かった」などと使います。「口が軽い」という表現もあります。「口が軽い人」は、「言ってはいけないことを言ってしまう人」です。反対の意味の表現は、「口がかたい」です。「口がかたい人」は、「言ってはいけないことは、絶対に言わない人」です。

ほかに、手や足を使った表現もたくさんあります。